

////////////////////////////////////
いわて マナビィ マガジン

No.170 2018. 11.2

////////////////////////////////////
11月に入り、朝晩の気温がより一層低くなりましたね。県内では、早くも「インフルエンザによる施設の閉鎖」というニュースが報道されていました。年末まで2ヶ月。体調には十分気をつけながら、残りの期間を乗り切りたいものです。

さて、今回のマナビィ マガジンは、「推進センター事業の報告」と「センター一般公開」についてお知らせいたします。

センター事業報告

◆子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅰ

【実施日】平成30年10月9日（火）

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【内容】

○講義「相談員としての心構え～話を聴く～」

[講師]盛岡大学文学部児童教育学科 教授 春日 菜穂美氏

※相談対応についての心構えと相談員としてのスキルを学びました。

【受講者からの感想】

・豊富な実践事例に基づき、かつ明快な語り口で講義していただいたので「うん、そうそう！」と心にストンと落ちる内容であった。

（子育て相談機関担当者）

・業務上の対応や職場の人間関係をスムーズに行うためにも必要なスキルだと思った。日常生活でも使える内容だと感じた。

（市町村子育て支援関係部局）

・相談対応時の自分のクセに気づき、見直すきっかけになった。分かりやすい講義で、これからの業務に早速活かしていきたい。

(子育て支援担当者)

◆広報スキルアップ研修講座

～集客力を上げる企画とチラシのテクニック～

【実施日】平成30年10月15日(月)

【会場】岩手県立総合教育センター(花巻市)

【内容】

○講義「集客力アップの法則を教えます」

[講師] パシオンTOKYOセンター長 坂田 静香 氏

※講座を企画する際のポイントと効果的な広報のコツを学びました。

○講義・演習「ここまでできる! Wordのテクニック」

[講師] パシオンTOKYOセンター長 坂田 静香 氏

※Wordの機能(図形やワードアート)を使いこなす技術とそれを組み合わせる裏技を学びました。また、その技術を使って、受講者が持参したチラシを魅力的なチラシに作り変えてみました。

【受講者からの感想】

・「チラシがいくら見やすくても企画がしっかりしていなければ、いい講座とは言えない」という講師の話が心に残った。今度は、まず、企画にしっかりとウェイトを置きつつ、集客につながるチラシ作成をしたい。

(公民館・地区センター等職員)

・今まで「なんとなく」使っていたWordについて、基礎的な知識やテクニックを知ることができて良かった。資料も分かりやすかった。

(市町村職員)

・「チラシは『テクニックと企画』という観点、決定権と対象者が同一とは限らない」という言葉がとても印象に残った。今後の事業の企画等への活用を図っていきたい。(生涯学習・社会教育関係者)

◆子どもの学びを支えるセミナー「青少年教育担当者研修会（センター会場）」

【実施日】平成30年10月18日（木）

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【内容】

○事例発表「子どものまなびを支える若者たち」

[発表団体]水沢ジュニアリーダーズクラブJUMP

奥州市青少年育成市民会議 事務局次長 大村 千恵 氏

国立花山青少年の家 企画指導専門職 高橋 英樹 氏

[助言者]文教大学人間科学科 准教授 青山 鉄兵 氏

※子どもを対象にした活動に、若者たちをどのように巻き込み、支援者として育成するか、事例をとおして学びました。

○講義・演習「子どもと若者をつなぐ青少年教育～その意義と指導者に求められる視点～」

[講師]文教大学人間科学科 准教授 青山 鉄兵 氏

※子どもと若者をつなぐ意義と指導者に求められる視点について、講義と演習をとおして学びました。

【受講者からの感想】

・事例だけでなく、時代背景から社会教育について学ぶことができ、勉強になった。知りたかった内容だったので良かった。

（NPO法人・地域づくり関係者）

・子どもの学びを支える若者との関わり方について、とても分かりやすく話していただいた。ボランティアの基本となる子ども会のあり方も参加者同士で話す機会ともなり、有意義な機会となった。

（生涯学習・社会教育関係職員）

・中学生、高校生の社会教育への参加の少なさは、以前から悩んでいたことであり、「忙しいから」という理由で少し諦めていた。しかし、

